

講義名	方法	学年	学期	単位	担当教員
柔整実技Ⅱ	実技	1	前期中期	2	持永

授業概要	骨の名称と身体のランドマークが一致するよう触察を学ぶ。それを基に巻軸包帯および三角巾、晒を用いた固定技術を習得する。
到達目標	臨床での的確な触知と、各損傷にたいする的確な処置固定ができるようにする。
成績評価	中間試験および期末試験(実技試験)で評価
実務経験	整骨院及び整形外科での勤務、トレーナとしての臨床症例を交えて知識と技術を伝える。

前期	講義内容
1	オリエンテーション
2	触察総論(総論冊子配布)
3	総論復習(課題配付)
4	肩甲骨の触察(各論冊子配布)
5	鎖骨の触察
6	上腕骨の触察(近位)
7	上腕骨の触察(遠位)
8	中間試験
9	橈骨の触察
10	尺骨の触察
11	手根骨の触察
12	指骨の触察
13	頭部・胸部の触察
14	脊柱の触察
15	期末試験
16	解説授業

使用教材	ボディ・ナビゲーション(医道の日本) ネッター解剖学アトラス(南江堂) 触診カラーアトラス(文光堂)
------	--

中期	講義内容
1	オリエンテーション(冊子配布)
2	巻軸包帯の巻き方
3	隻指帯(指先を覆わない包帯)
4	全指帯
5	包か帯(指先を被覆する包帯)
6	指頭包か帯(指先から手首までを被覆する包帯)
7	中間試験
8	前腕の折転帯
9	手部の麦穂帯
10	肘の亀甲帯
11	上肢の包帯①(肩上行麦穂帯)
12	上肢の包帯②(肩下行麦穂帯)
13	三角巾①(基礎固定法)
14	三角巾②(応用固定法)
15	期末試験
16	解説授業

使用教材	包帯固定学(南江堂) 巻軸包帯8裂・6裂・5裂 三角巾
------	-----------------------------------